

国立病院機構 西新潟中央病院

— 地域とともに、日々とともに。「今」を伝えるもの語り —

Care + Nishinigiata Chuo Hospital 2026 June

かれん

vol.

17

2026年  
6月



国立病院機構 西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号 TEL.025-265-3171 FAX.025-231-2831  
<https://nishinigiata.hosp.go.jp/>



ホームページ  
はこちらから



Instagram  
はこちらから

message

初夏の候、緑まぶしい季節となりました。  
みなさまにおかれましては、ますますご清祥のことと  
お慶び申し上げます。

このたび、令和8年4月1日付で院長に就任いたしました渡辺健寛です。  
専門は呼吸器外科です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで本院が掲げてきた「チーム西新潟」。  
患者さんを中心に、多くの職種が力を合わせて最良の医療を提供する、  
私たちが目指す医療のかたちであり、合言葉です。

私たちが大切にしている思いは、次のとおりです。

- ・ 専門性が高く安心・安全な医療を実行し、  
患者さんにご家族の笑顔に貢献します
- ・ 地域社会を支えるとともに、  
グローバルな視点も備え持ち新潟と世界の今に貢献します
- ・ 若い医療人の育成にも力を注ぎ、新潟の未来に貢献します
- ・ 活発な臨床研究と情報発信を通じて、  
医学の進歩と知識の普及に貢献します

これからも「チーム西新潟」の理念を変わず踏襲し、  
集結した力が患者さんやご家族の希望となるよう、励んでいきます。  
ぜひ応援してください。よろしくお願いいたします。

国立病院機構 西新潟中央病院  
院長

わたなべ たけひろ  
渡辺 健寛



新年度  
新体制発足の  
ごあいさつ

かれん

vol.17

Care+Nishinigiata Chuo Hospital  
2026 June

かれん(Care+N)とは、ケア(いたわる心)と、  
西新潟のNを組み合わせられてきた名前です。  
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように。  
そんな思いから生まれました。

contents

03

Care+N person interview

新院長 渡辺 健寛

05

Care+N forum

院長 渡辺 健寛

副院長 桑原 克弘

07

Care+N letters

[ 院内を紫色にデコレーション。「パープルデーイベント」開催 ]

[ 新体制でのスタート 令和8年度 辞令交付式 ]

[ 医療をもっと身近に 看護の日イベント ]

introduction 新体制がスタートしました

09

information

この春、当院に就任した新しいリーダーをご紹介します。  
新院長として、また、肺がんの外科治療を中心に行う呼吸器外科の専門医として、  
「チーム西新潟」の先頭に立ち、病院全体を力強く牽引するドクターです。

もっと身近で、  
優しさにあふれた  
病院を目指して。



「患者さんを第一に考え、最善を尽くしたい」  
という思いを胸に、職員一同、質の高い医療と信頼を  
提供していきます。

わたなべ たけひろ  
新院長 渡辺 健寛

#### 院長に就任しました。よろしくお願いいたします！

私が国立病院機構 西新潟中央病院に赴任して、早いもので25年が経ちました。これまでは特命副院長として病院の経営面に関わっていましたが、今後は院長として、診療・運営におけるさまざまな事項の最終決定をはじめ、対外的な交渉業務、そのための勉強をすることが仕事です。一方で、これまでと変わらず、呼吸器外科の患者さんも受け持ちます。院長の仕事と並行して、担当の患者さんを持つ院長は5代ぶりだそうです。

#### いつでも笑顔で挨拶を！明るい雰囲気病院づくり。

私が院長になったからといって、今までの病院が変わるわけではありません。前院長の大平先生によって提唱され、職員みんなで築き上げてきた「チーム西新潟」は、もちろん継続していきます。さらに、職員たちがますます楽しく働ける環境づくりも進めていきたいと思っています。「おはよう」から「お疲れさまでした」まで笑顔で声かけすることは、当たり前のようにとても重要なことです。ともに働く仲間として、垣根のない職場をつくっていくことを目指しています。



#### これまで以上に、地域に開かれた病院へ。

地域のみなさんには、もっと当院を身近に感じてほしいと考えています。そのために、7月第1日曜日に開催している「病院祭」や、地域の大型商業施設で行う「看護の日イベント」、どなたでも参加していただける「市民公開講座」など、病院主催のさまざまな催しを企画し、Instagramなどの広報活動にも力を入れていきます。新型コロナウイルス感染症を経て、ひとびとの暮らしは劇的に変わり、病院の在り方も変化してきました。病院に対するマイナスな印象を少しでも和らげ、特に呼吸器系・脳神経系でお困りの方に、気軽にご相談いただける存在でありたいと思っています。

#### 休日は心の充電を。探究心を大切にしています。

ここ数年でコロナが落ち着いてきたので、時間を見つけて京都・奈良に仏像を見にいっています。仏さまの前で手を合わせると、心が洗われる思いがします。海外旅行も大好きで、若い頃と同じようにバックパッカーの旅もいいなと感じています。見たことのない景色を見てみたい、興味のあることを勉強したいという思いは、心を豊かにしてくれます。私は当院の、おおらかで優しい雰囲気がとても好きです。みなさまに安心感を与えられる、心地よい病院であるために、私も常に笑顔を絶やさず、職務に当たっていきたく思います。



## チーム医療を強みに、 患者さんに頼りにされる病院へ

今回は、新院長と新副院長が揃って登場です。親しみやすいお人柄に迫り、働き方改革、未来への挑戦についても語っていただきました。

**新院長の渡辺先生、新副院長の桑原先生、  
自己紹介をお願いします。**

**渡辺:**私は三条市出身、新潟大学医学部出身です。桑原先生も同じ新潟大学医学部のご卒業で、私の1年先輩にあたります。

**桑原:**私は魚沼市出身です。当院に赴任したのは平成10(1998)年、専門は呼吸器感染症です。渡辺先生とは、呼吸器専門の医師が少なかったこともあり、昔から知り合いでした。30年近い付き合いになります。

**渡辺:**桑原先生は新潟県の結核、非結核性抗酸菌症という病気でナンバーワンの医師です。非常に優秀で信頼のおける、職員みんなに尊敬されている方です。

**お互いの性格やお仕事ぶりを  
どのようにご覧になっていますか？**

**渡辺:**私はどうしても、まっすぐしか見れない性格で、脇目も振らずに突進していくタイプ。桑原先生はゆっくり物事を考え、じっくり勉強される、周囲がよく見えているタイプだと思います。



**桑原:**そうかもしれません。決めたことを実行する時に、周りの意見をまず聞いてから調整することが多いです。渡辺先生は突破力と実現力がある方なので、みんなの意見や困りごとを聞き入れ、最適な解決策を見つけてくださると期待しています。

**渡辺:**期待に応えられるよう頑張ります。お互いの長所を活かして、うまくやっていけたらいいですね。

**病院の業務に関して目指すこと、  
改善していきたい点を教えてください。**

**渡辺:**桑原先生は「働き方改革には、業務の効率化が大事」とおっしゃっていましたね。職員が効率的に仕事を終え、自宅で過ごす時間を増やしてほしいという

考えを聞き、確かにその通りだと思いました。

**桑原:**ありがとうございます。例えば、今、当院の呼吸器内科には小さいお子さんをもつ女性医師が2名います。夜中や土日、子どもの急な体調変化など、フルタイムで働きながら子育てを両立することは、本当に難しい。キャリアを中断せずに子育て支援できるよう考えていかなければと、これまでずっと思っていました。

**渡辺:**これからは、男性も女性も働きやすい社会を作ることを目標に、産休や育休、復帰後の時短勤務などを整えていく必要がありますね。



**桑原:**おっしゃる通りです。それから、コロナの患者さんを大勢診ていた頃感じたのが、もし医師や医療スタッフの誰かが突然休むことになった場合に、業務を止めない仕組みを作りたいということです。ピンチヒッターでも対応できるよう、システムとしての業務分担が大切だと思っています。

**これからの「チーム西新潟」の展望と  
地域のみなさんへのメッセージをお願いします。**

**桑原:**当院の特徴として、特殊な疾患や障害のある患者さんを多く受け入れており、専門医もたくさん在籍しています。職種横断で協力しながら、患者さんの問題解決に取り組む意識を持ち、この病院を頼りにして下さる患者さんを、一生懸命診ている病院だと認識していただけるよう、今まで以上に努力していきたいです。

**渡辺:**特殊な診療科を備えた病院だからこそ、チーム医療が大切です。一人の患者さんを中心に、みんなで助け合って最善の医療を提供し、いちばん良い結果を出すのが私たちの役目だと思います。新体制となり、ますます結束する「チーム西新潟」を、今後ともよろしく願いいたします。



院長  
わたなべ たけひろ  
**渡辺 健寛**

副院長  
くわばら かつひろ  
**桑原 克弘**

西新潟中央病院のさいきんの出来事をお知らせします

topics 01

PURPLE 326 DAY

院内を紫色にデコレーション。  
「パープルデーイベント」開催



風船をたくさん用意して

毎年3月26日の「てんかん啓発記念日」の前後3日間、新潟県のとんかん支援拠点病院でもある当院では、院内をシンボルカラーの紫色に装飾し、主に小児科の患者さんには風船を配布、スタッフは紫色のアイテムを身に着ける「パープルデー」に参加しています。また、今年もデンカビッグスワンスタジアムを紫色にライトアップし、啓発活動をアピールしました。

3月26日は  
Purple Day  
『てんかんをもつ人を  
ひとりぼっちにしない』

こちらも注目!  
パープルデー  
アレンジです♡



topics 02

新体制でのスタート  
令和8年度 辞令交付式

今年度、当院に合計37名の職員が加わり、渡辺新院長から辞令書を受け取りました。式典後には新採用者のオリエンテーションが行われ、新たな第一歩を踏み出しました。



ドキドキの瞬間  
夢への第一歩です!



お立ち寄りいただき  
ありがとうございました!

topics 03

医療をもっと身近に  
看護の日イベント(5月19日)

「看護の日」にちなんだイベントをイオン新潟青山店で開催。健康チェックや健康相談を行うブースに足を止めるひとも多く見られ、気軽に医療に親しんでいただける機会となりました。



introduction  
新体制がスタートしました

院長 渡辺 健寛	副院長 桑原 克弘	統括診療部長 高橋 哲哉	神経部長 長谷川 有香	呼吸器部長 森山 寛史	薬剤部長 石川 光信	診療放射線技師長 石川 玉樹	臨床検査技師長 山本 伸晃

転入医師のご紹介

呼吸器科医師 鈴木 明日美	呼吸器外科医師 中山 梨枝子	脳神経内科医師 油谷 頌子	呼吸器科医師 小笠原 丈彦	小児科医師 田中 真奈

それぞれ趣向を凝らした  
デコレーションをご覧ください //



外来診療担当医表 [2026.6]

[受付時間]8:30~11:30 [休診日]土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前 (予約制)	森山 寛史	桑原 克弘	森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也
		木村 夕香	松山 菜穂	松本 尚也	松山 菜穂 (隔週)	木村 夕香
		松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)	高橋 美帆	松山 菜穂 (睡眠時無呼吸)	鈴木 明日美	
	午後 (予約制)		(睡眠時無呼吸)			
呼吸器外科	午前	(手術日)	渡辺 健寛	(手術日)	渡辺 健寛	
整形外科	午前		藤澤 純一	藤澤 純一	(手術日)	榮森 景子
小児整形外科	午後 (予約制)					榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	高橋 哲哉	中村 航世	高橋 哲哉	長谷川 有香
	午後 (予約制)		黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
機能脳神経外科	午前	福多 真史	(手術日)	福多 真史	増田 浩 (再来のみ)	(手術日)
	午後 (予約制)	伊藤 陽祐		伊藤 陽祐	太田 智慶	
てんかん科	午前 (予約制)		齋藤 奈つみ (新患のみ)	大学医 (再来のみ)		大学医 (再来のみ)
	午後 (予約制)		齋藤 奈つみ (再来のみ)	大学医 (再来のみ)		齋藤 奈つみ (再来のみ)
神経小児科	午前・午後 (予約制)	三浦 雅樹 (再来のみ)	遠山 潤 (再来のみ)	放上 萌美	遠山 潤 (再来のみ)	小林 悠
		古寺 一樹 (再来のみ)	小林 悠 (再来のみ)	遠山 潤	三浦 雅樹	放上 萌美
	午後 予防接種(予約制)	藤井 仁美 (予防接種)	古寺 一樹 (予防接種)	田中 真奈 (予防接種)	田中 真奈 (再来のみ)	古寺 一樹
難病リハビリ	9:00~15:00	油谷 頌子	中村 航世	大学医/油谷	若杉 尚宏	油谷 頌子
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。予約専用窓口/TEL.025-265-2299

□翌日以降の予約(平日13:00~17:00) □当日の診療希望(平日9:00~11:00)

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付/8:30~11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。 □休診日/土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171(代表)へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】 A.有明線

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

B.坂井輪コミュニティバス

「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分

C.西小針線(本数が多い)

「小針十字路」下車徒歩約10分

【JR】越後線「小針駅」からタクシー3分

【車】新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue

表紙の話：今年度の新入職員が、満開の桜の下で記念撮影！

4月、当院に14人の新入職員が仲間入りし、満開の桜の下で恒例の記念撮影を行いました。

開花にあわせて集合した、初々しい顔ぶれ。カメラマンさんの「笑って!」の声に、初めは少しぎこちない様子でしたが、それでも最後はこの笑顔!みなさまのために元気いっぱい頑張ります。よろしくお願いたします。



かれん 2026年6月 vol.17 Care+Mishinigiata Chuo Hospital 2026 June

〈発行人〉院長 渡辺 健寛 〈編集人〉丸橋 光明 高橋 篤史